



英語の基礎・ルールを知ろう

中学1年生の英語で一番のポイントは、「動詞の区別」と「文のパーツ（品詞）」をセットで理解することです。これからの英語学習の土台になる大切なルールを確認しましょう！

1 be動詞 （「＝」の関係）



主語とその後ろを「イコール（＝）」で結ぶ役割をします。主語に合わせて am / is / are を使い分けます。

- **I am a student.**（私＝学生です。）
- **He is my friend**（彼＝私の友達です。）

2 一般動詞 （動きや状態を表す）



play（する）、like（好き）、go（行く）など、be動詞以外のすべての動詞です。主語が「私・あなた以外の一人・一つ（3人称単数）」の時は、動詞に -s や -es をつけます。

- **You play tennis.**（あなたはテニスをします。）
- **She likes music.**（彼女は音楽が好きです。）

3 名刺・代名詞 （主語や目的語になるもの）



「名詞」は人やモノの名前。「代名詞」は名詞の代わりに使う言葉（I, you, he, she, it など）です。

- **Tom likes dogs.**（トムは犬が好きです。）
- **He likes them.**（彼はそれらが好きです。）



覚えておきたい代名詞 （人称代名詞）の変化表

★代名詞の例：this, that, it, I, he, she など
※人を指す代名詞（人称代名詞）には、文の中での役割によって「格」と呼ばれる形の変化があります。

	主格（～が・は）	所有格（～の）	目的格（～を・に）	所有代名詞（～のもの）
私	I	my	me	mine
あなた	you	your	you	yours
彼	he	his	him	his
彼女	she	her	her	hers
私たち	we	our	us	ours
彼ら（それら）	they	their	them	theirs
それ	it	its	it	（なし）

4 形容詞・副詞 （飾りをつける言葉）



「形容詞」は名詞を詳しくし、「副詞」は動詞などを詳しくするデコレーションの言葉です。

- 【形容詞】 **It is a big dog.**（それは大きい犬です。）
- 【副詞】 **He runs fast.**（彼は速く走ります。）

5 前置詞 (場所や時間を表す)



in, on, at, under など、名詞の前に置いて「場所」や「時間」などの情報を付け足します。

- The book is **on** the desk. (本は机の上にあります。)
- I get up **at** seven. (私は7時に起きます。)



覚えておきたい前置詞一覧



① 「場所・位置」を表す (どこに?)

- **at** (ピンポイントの地点): at the station (駅で)
- **in** (空間の中): in the box (箱の中に)、in Japan (日本で)
- **on** (表面に接して): on the desk (机の上に)、on the wall (壁に)
- **under** (〜の下に): under the tree (木の下に)
- **by / near** (〜のそばに / 〜の近くに): by the window (窓のそばに)
- **in front of / behind** (〜の前に / 〜の後ろに): behind the door (ドアの後ろに)
- **between** (2つの間に): between A and B (AとBの間に)

② 「時」を表す (いつ?)

- **at** (時刻): at seven (7時に)
- **on** (特定の曜日・日付): on Sunday (日曜日に)、on May 5 (5月5日に)
- **in** (月・季節・年などの期間): in August (8月に)、in summer (夏に)
- **before / after** (〜の前に / 〜の後に): after school (放課後に)
- **for** (〜の間 ※数字の期間): for three days (3日間)
- **during** (〜の間に ※特定の期間): during the summer vacation (夏休みの間に)
- **until [till]** (〜までずっと): until tomorrow (明日まで)

③ 「方向・動き」を表す (どこへ?)

- **to** (到達点・〜へ): go to school (学校へ行く)
- **for** (向かう方向・〜に向けて): leave for Tokyo (東京に向けて出発する)
- **from** (出発点・〜から): from Japan (日本から)
- **into / out of** (〜の中へ / 〜の外へ): go into the room (部屋の中へ入る)
- **through** (〜を通り抜けて): walk through the park (公園を通り抜ける)
- **across** (〜を横切って): run across the street (通りを走って横切る)

④ 「手段・関連・その他」

- **with** (〜と一緒に、〜を使って): with my family (家族と一緒に)、with a pen (ペンで)
- **without** (〜なしで): without water (水なしで)
- **by** (〜によって、交通手段): by bus (バスで)
- **of** (〜の): a picture of my dog (私の犬の写真)
- **about** (〜について、約〜): talk about music (音楽について話す)、about two hours (約2時間)
- **like** (〜のように、〜みたいなの): look like a cat (猫のように見える)
※動詞のlike (好き)とは異なります。

6 助動詞 (can: ~できる)



動詞の前に置いて、「~できる」という能力や可能性を付け足します。助動詞の後ろの動詞は、必ず原形(元の形)になります。

- I **can** swim. (私は泳ぐことができます。)

7 時制~現在進行形 (今、~している)



「今まさにやっている最中」を表します。
【be動詞 + 動詞の-ing形】で作ります。

- She **is reading** a book now. (彼女は今、本を読んでいます。)

8 時制~過去形詞 (~した、~だった)



過去の出来事を表します。一般動詞は -ed をつける規則動詞と、形がガラッと変わる不規則動詞 (go → went など) があります。

- I **played** soccer yesterday. (私は昨日サッカーをしました。)
- I **was** busy. (私は忙しかったです。)
※be動詞の過去形

9 文の組み立て (~疑問文・命令文)



文の種類によって、単語の並べ方(語順)が変わります。

- 【疑問文 (〜ですか?)】 be動詞や Do / Does を文の先頭に出します。
Do you like apples? (りんごは好きですか?)
- 【命令文 (〜しなさい)】 主語 (You など) を省き、動詞の原形からスタートします。
Open the door. (ドアを開けなさい。)



表現の幅を 広げよう！

中学2年生になると、1つの文が少し長くなり、自分の気持ちや詳しい状況など「複雑な意味」を付け加える単元がぐっと増えます。表現のバリエーションを一気に広げていきましょう！

10 時制～未来形 (will / be going to)



「～するつもりです」「～でしょう」という未来の予定や予測を表します。動詞の原形の前に置いて使います。

- **I will help you.** (私があなたを手伝いましょう。) ※その場で決めた意志
- **I am going to visit Kyoto tomorrow.** (私は明日、京都を訪れる予定です。) ※前から決めていた予定

11 助動詞 (must, should, may など)



中1で習った「can」の仲間に、新しい言葉が加わります。動詞の原形の前に置いて、義務やアドバイス、推量(推測)などの意味を付け足します。

- **You must do your homework.** (あなたは宿題をしなければなりません。)
- **You should go to bed early.** (あなたは早く寝るべきです。)
- **It may rain today.** (今日は雨が降るかもしれません。)



中学生で覚える助動詞一覧

① can (キャン)

- 能力 (～できる)
I **can** swim. (私は泳ぐことができる)
※言い換え: **be able to**
- 許可 (～してもよいですか?)
Can I use this pen? (このペンを使ってもよいですか?)
- 依頼 (～してくれませんか?)
Can you help me? (手伝ってくれませんか?)

③ must (マスト)

- 義務 (～しなければならない)
You **must** study hard. (あなたは一生懸命勉強しなければならない)
※言い換え: **have to**
- 推量 (～に違いない)
He **must** be tired. (彼は疲れているに違いない)
- 【重要】否定形の言い換え
・ **must not** (～してはいけない) ※強い禁止
・ **don't have to** (～しなくてもよい) ※不必要

⑤ should (シュド)

- 義務・忠告 (～すべきだ、～したほうがよい)
You **should** go to bed early. (あなたは早く寝るべきだ)

⑦ would / could (ウッド/クッド) ※丁寧な表現

- 丁寧な依頼 (～していただけますか?)
Would [Could] you tell me the way? (道を教えていただけますか?)
- 丁寧な提案 (～はいかがですか?)
Would you like a cup of tea? (紅茶はいかがですか?)

② will (ウィル)

- 意志・未来 (～するつもりだ、～でしょう)
I **will** go to Tokyo. (私は東京に行くつもりです)
※言い換え: **be going to**
- 依頼 (～してくれませんか?)
Will you open the window? (窓を開けてくれませんか?)

④ may (メイ)

- 推量 (～かもしれない)
It **may** rain tomorrow. (明日は雨が降るかもしれない)
- 許可 (～してもよい)
May I come in? (入ってもよろしいですか?) ※Can I...? より丁寧

⑥ shall (シャル) ※疑問文で使われることが多いです

- 提案 (私が～しましょうか?)
Shall I help you? (私が手伝いましょうか?)
- 勧誘 (一緒に～しませんか?)
Shall we dance? (一緒に踊りませんか?)
※言い換え: Let's ~.

will や can の過去形ですが、現在のことについて「より丁寧な表現」として使われます。

- 希望 (～したいのですが)
I **would** like to go there. (私はそこへ行きたいです)
※言い換え: **want to**

12 不定詞・動名詞 (～すること、～するための)



「to + 動詞の原形 (不定詞)」や「動詞の-ing形 (動名詞)」を使って、動詞を別の品詞 (名詞や形容詞など) に変身させる便利なテクニックです。

- 【～すること (名詞的用法・動名詞)】 I like to play / playing soccer.
(私はサッカーをすることが好きです。)
- 【～するための・すべき (形容詞的用法)】 I have a lot of homework to do.
(私にはすべき宿題がたくさんあります。)
- 【～するために (副詞的用法)】 I went to the park to play soccer.
(私はサッカーをするために公園に行きました。)

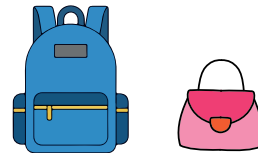


13 比較の表現 (比較級・最上級)



2つのものを比べる「比較級」と、3つ以上の中で一番を比べる「最上級」です。形容詞や副詞の形を変化させて (-er や -est をつけて) 作ります。

- 【比較級 (～より…)】 This bag is **bigger than** that one.
(このバッグはあのバッグより大きいです。)
- 【最上級 (一番…)】 He runs **the fastest in** his class.
(彼はクラスの中で一番速く走ります。)
- 【同等 (同じくらい…)】 I am **as tall as** you.
(私はあなたと同じくらい背が高いです。)



14 文の組み立て～受動態 (受け身)



「～される」「～された」という、される側にスポットライトを当てた文です。【be動詞 + 過去分詞】の形で作ります。動詞の3つ目の形 (過去分詞) を覚えるのがカギです！

- This book is read by many people.
(この本は多くの人に読まれています。)
- The window was broken by him.
(その窓は彼によって割られました。)





文を長く、詳しく
つなげよう！

中学3年生では、名詞を後ろから説明する「後置修飾」など、より高度で表現力豊かな文の構造を学びます。文が長くなりますが、基本のルールが分かればパズルのように組み立てられます！

15 時制～現在完了形



「過去に起こったことが、現在までつながっている」ことを表します。【have [has] + 過去分詞】で作成、3つの意味を持ちます。

- 【継続（ずっと～している）】
I **have lived** here for three years.
(私はここに3年間ずっと住んでいます。)
- 【経験（～したことがある）】
I **have visited** Kyoto twice.
(私は京都を2回訪れたことがあります。)
- 【完了（～してしまった・～したところだ）】
I **have just finished** my homework.
(私はちょうど宿題を終えたところです。)

16 時制～現在完了進行形



「過去から今までずっとその動作をやり続けている（今もやっている）」という、動作の継続を強調します。【have [has] been + 動詞の-ing形】で作ります。

- I **have been playing** soccer for two hours.
(私は2時間ずっとサッカーをやり続けています。)

17 分詞の後置修飾 (～している人、～された物)



「現在分詞 (-ing)」や「過去分詞」を使って、名詞を後ろから詳しく説明（修飾）するテクニックです。

- 【～している（現在分詞）】
The boy **playing soccer** is Tom.
(サッカーをしている少年はトムです。)
- 【～された（過去分詞）】
This is a book **written by him**.
(これは彼によって書かれた本です。)

18 文の組み立て～関係代名詞 (who, which, that)



2つの文を接着剤のようにつなぎ、名詞をさらに詳しく説明します。人の場合は who、モノや動物の場合は which（どちらにも使えるのが that）を使います。

- 【主格（主語の働きをする）】
I have a friend **who** lives in Tokyo.
(私には東京に住んでいる友達があります。)
- 【目的格（目的語の働きをする）】
This is the movie **which** I watched yesterday.
(これは私が昨日観た映画です。)

19 文の組み立て ～間接疑問文・仮定法

- 【間接疑問文】 疑問文を別の文の中に組み込みます。疑問詞 (whereなど) の後ろが「主語 + 動詞」の普通の語順に戻るのがポイントです。
I don't know **where he lives**.
(私は彼がどこに住んでいるか知りません。)
- 【仮定法】 「もし～なら…なのに」という、現在の現実とは違うこと（あり得ないこと）を想像する表現です。現在のことであえて過去形を使って距離感を出します。
If I **were** a bird, I could fly to you.
(もし私が鳥なら、あなたのもとへ飛んでいけるのに。)

20 文の組み立て～感嘆文



「なんて～なんだろう！」と驚きや感動を表す表現です。使う言葉によって2つのパターンがあります。

- 【What + (a/an) + 形容詞 + 名詞 + 主語 + 動詞!】
What a beautiful flower this is!
(これはなんて美しい花なのでしょう！)
- 【How + 形容詞 / 副詞 + 主語 + 動詞!】
How beautiful this flower is!
(この花はなんて美しいのでしょう！)



中学必修！不規則動詞50選（活用一覧表）



「現在形ー過去形ー過去分詞形」の順に形がどう変わるかで、大きく4つのグループに分かれています。

① A-A-A型（すべて同じ形）

変化しないので一番覚えやすいグループです。

※readのみ、過去形・過去分詞形の発音が「レッド」に変わるので注意！

現在形	過去形	過去分詞形	日本語訳
cut	cut	cut	切る
put	put	put	置く
read	read	read	読む（発音：リード→レッド→レッド）

② A-B-A型（現在形と過去分詞が同じ形）

現在形	過去形	過去分詞形	日本語訳
become	became	become	～になる
come	came	come	来る
run	ran	run	走る

③ A-B-B型（過去形と過去分詞が同じ形）

中学英語で最も数が多い、最重要グループです。

現在形	過去形	過去分詞形	日本語訳
bring	brought	brought	持ってくる
build	built	built	建てる
buy	bought	bought	買う
catch	caught	caught	つかまえる
feel	felt	felt	感じる
find	found	found	見つける
get	got	got	手に入れる
have	had	had	持っている
hear	heard	heard	聞こえる
keep	kept	kept	保つ、続ける
leave	left	left	去る、残す
lose	lost	lost	失う、負ける
make	made	made	作る
meet	met	met	会う
say	said	said	言う
sell	sold	sold	売る
send	sent	sent	送る
sleep	slept	slept	眠る
tell	told	told	話す、伝える
think	thought	thought	思う、考える

④ A-B-C型（すべて違う形）

現在完了形や受動態でミスしやすいので、しっかり暗記しましょう。

現在形	過去形	過去分詞形	日本語訳
am / is / are	was / were	been	～である、いる
begin	began	begun	始まる
break	broke	broken	壊す
do	did	done	する
drink	drank	drunk	飲む
drive	drove	driven	運転する
eat	ate	eaten	食べる
fall	fell	fallen	落ちる
fly	flew	flown	飛ぶ
forget	forgot	forgotten	忘れる
give	gave	given	与える
go	went	gone	行く
know	knew	known	知っている
see	saw	seen	見る、会う
sing	sang	sung	歌う
speak	spoke	spoken	話す
swim	swam	swum	泳ぐ
take	took	taken	取る、連れて行く
wear	wore	worn	身に着けている
write	wrote	written	書く